

# 草の根 通信

VOLUME  
92

*Kusanone Tsushin*

[2017年8月31日発行]



「田植え楽しかったよ！」  
(広陵町分科会にて)

特集

## 奈良大会 開催報告

- ・ジョージア州から高校生ら 15名がTOMODACHIの支援で参加！
- ・第2回 テキサス大学ダラス校・草の根サミット特別プログラム



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

**ANA** Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

国内線のお問合せ ☎ 0570-029-222 (全国一律料金) 国際線のお問合せ ☎ 0570-029-333 (全国一律料金)

[www.ana.co.jp](http://www.ana.co.jp)

# 特集 奈良大会 開催報告

2017年の「第27回 日米草の根交流サミット2017奈良大会」は、6月27日(火)から7月3日(月)まで、奈良県9市町村で開催されました。主催は日米草の根交流サミット奈良大会実行委員会(事務局：奈良県観光プロモーション課)、CIE、そしてCIE-US。109名のアメリカからの参加者達は、日本の古都の雅さと自然の美しさが溶け合う奈良で、ホストファミリーやボランティアの温かなおもてなしに触れつつ、充実の一週間を過ごしました。



## 大会スケジュール

6月26日(月)	参加者、アメリカ各地を出発 [ 機内泊 ]
6月27日(火)	成田経由、伊丹空港へ。バスでホテルへ [ 宿泊：奈良ロイヤルホテル ]
6月28日(水)	午前～午後 オプション・ローカル・ツアー(4コース) 午後 東大寺見学 東大寺・金鐘会館でオープニング式典/ 奈良ロイヤルホテルで歓迎レセプション [ 宿泊：奈良ロイヤルホテル ]
6月29日(木)	朝、鹿苑で「鹿の赤ちゃん」見学 午前 地域分科会に出発 地域分科会開始 [ 宿泊：ホームステイ ]
6月30日(金)	終日 地域分科会 [ 宿泊：ホームステイ ]
7月1日(土)	終日 地域分科会 または、ホストファミリーとの一日 [ 宿泊：ホームステイ ]
7月2日(日)	午後 奈良春日野国際フォーラム「麓」へ ホスト・ファミリーと移動 “麓”の能楽ホールでクロージング式典 / “麓”の日本庭園でレセプション [ 宿泊：ホテル日航奈良 ]
7月3日(月)	午前 専用バスで伊丹空港へ 伊丹から成田経由で帰国 または、ポスト・サミット・オプション・プログラム等へ出発

## 大会参加者数

### アメリカからの参加者 109名

- ・オープニング式典&レセプション…220人(米国参加者109名含む)
- ・ホストファミリー…332人(83軒)
- ・地域分科会でのボランティアやイベント参加者…250人
- ・クロージング式典&レセプション…350人

大会参加者総数 約1,000名

## 第5回 草の根サミット同窓会

日本で草の根サミットが開催される際には、過去のアメリカ開催サミットに日本から参加した大会OB・OGが中心となって集う「草の根サミット同窓会」も、オープニングに合わせて催されています。その同窓会も、今年で5回目。各地から43名のOB・OGが奈良に集いました。

6月27日の夕刻に開かれた「懇親会」では、2つの興味深い学びの機会も提供されました。その一つは、1967年にNETテレビ(現・テレビ朝日)で放送されたジョン万次郎を紹介する特別番組。太平洋を挟んで、ニューベッドフォード捕鯨博物館、ハワイ、土佐清水市、そして東京のスタジオを結ぶ、当時としては画期的な4元同時中継の「桂小金治ショー」。この秘蔵フィルムの所以を北代淳二CIE評議員が紹介。フィルムの一部をDVDで鑑賞しました。もう一つは、万次郎の子孫でインド美術史研究家、そして東大寺上院院主の平岡昇修氏の妻でもある平岡三峰子氏による仏教美術に関する解説でした。

翌日(28日)、一行はアメリカからの参加者とともにローカル・ツアーとオープニング式典・歓迎レセプションにも参加。交流と学び、観光を楽しむ2泊3日を奈良で過ごしました。

### 〈サミット同窓会幹事〉

会長：中山貴恵  
副会長：魚岸志乃富  
事務局：平田潔  
小高美喜  
村井二葉



北代淳二  
CIE評議員が解説



万次郎子孫 平岡三峰子氏による講演



万次郎の秘蔵フィルムを鑑賞

## 6月27日(火) 奈良に到着!

アメリカ各地から出発した参加者は、2便に別れて成田経由で大阪伊丹空港へ。そこから専用バスで宿泊する奈良ロイヤルホテルに向かい、ホテルには第一陣は午後8時頃、第二陣は9時頃到着。少々疲れ気味の様子でしたが、それでもチェックイン後にホテル付属の温泉を楽しんだ参加者も多かったようです。



ホテルではバナーを掲げて歓迎

## 6月28日(水) ローカル・ツアー

到着翌日には、ほとんどの参加者達は4つのオプション・ローカル・ツアーに分かれて参加。奈良が世界に誇る寺や寺院に加え、酒造、日本庭園、そうめんの里でのランチなど、楽しい半日を過ごし、コースの最後に東大寺に集いました。



長谷寺と橿原神宮コース：福島県葛尾中学校の生徒達も参加



法隆寺と春日大社コース



大神神社、長龍酒造、  
麴ゆう館コース



依水園、奈良奥山ドライブウェイ、  
春日大社コース

## オープニング式典 @ 東大寺

奈良大会のオープニング式典会場は東大寺。式典に先立ち、参加者らは南大門や大仏を見学。午後3時からの式典は境内の「金鐘会館」で開催されました。



### 歓迎の挨拶



北河原公敬  
大会実行委員会会長  
日米協会会長 東大寺長老



森田康文 奈良県観光局長



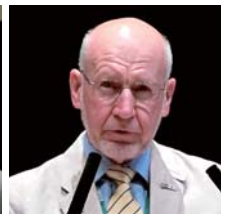
梅森義弘  
奈良市観光経済部長



河野雅治 CIE 理事長



アレン・グリーンバーグ  
駐大阪・神戸米国総領事



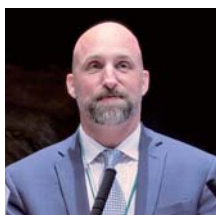
マシュー・ベリー  
ペリー提督子孫

### 来賓挨拶

### 万次郎と船長子孫による挨拶と地球儀の交換



中濱京 ジョン万次郎子孫



スコット・ホイットフィールド  
ホイットフィールド船長子孫



中濱家とホイットフィールド家による  
地球儀の交換  
左: スコット・ホイットフィールド 右: 中村知晴

### 葛尾中学校 (アトランタ大会参加) の紹介



## 地域分科会の紹介

式典では、翌日から始まる地域文化会のキーパーソンや、お世話くださる方からの分科会紹介がありました。



佐野純子 奈良市



仮家正剛  
奈良フレンドシップ・フォーラム



木治正人 曽爾村



# 奈良



北森義郷 宇陀市



小西宗日出 桜井市



白木文 高取町



下田正寿 明日香村



佐々木邦子 橿原市



荻本洋一 広陵町



岡本昇 斑鳩町



浅田重義  
奈良県立敬愛高校

## 歓迎レセプション @ 奈良ロイヤル・ホテル

式典後、場所を奈良ロイヤル・ホテルに移し、午後6時半から歓迎レセプションが開催されました。歓迎や来賓の挨拶の後、ジョージア州メーコン・ビブ郡からTOMODACHIイニシアチブの支援で参加した高校生が、公民権・人権運動に関するみごとなプレゼンテーションを披露。会場から拍手喝采を受けました。その後、奈良県の公式キャラクター「せんとくん」がダンスで会場を盛り上げました。参加者らは、奈良のおもてなしに溢れる数々の料理に舌鼓を打ちつつ、お琴の演奏などを楽しみました。



ジェイソン・ハイランド  
米国臨時代理大使による  
来賓挨拶



田口俊明 CIE 理事による  
乾杯のご発声



お琴の演奏



せんとくんのダンス



第27回 日米草の根交流サミット2017 奈良大会  
The 27th Japan-America Grassroots Summit 2017 in Nara  
メーコン・ビブ郡の高校生によるプレゼンテーション



レセプションの様子



乾昌弘  
奈良市観光協会会長による  
開会挨拶

6月29日(木)~7月2日(日)

## 地域分科会 — ホームステイ・プログラム

6月29日、参加者達は奈良公園の「鹿苑」で、生まれてまもない鹿の赤ちゃんを見学した後、それぞれの地域分科会に出発。分科会は大会のハイライト。数々の文化交流、また3泊のホームステイを通じて、古都ならではの歴史や文化に触れ、奈良の日常の生活も体験しつつ、新しい友情を育みました。

### 1 奈良市

- ・能楽師による小鼓指導
- ・昔のおもちゃ遊び体験
- ・折り紙
- ・柳生「三浦邸」見学

アメリカからの参加者人数 9名



### 2 奈良 フレンドシップ・フォース

- ・元興寺、吉田蚊帳、奈良町資料館など見学
- ・ならまち歩き
- ・春鹿酒造で利き酒
- ・日本文化体験(習字、着付けなど)

アメリカからの参加者人数 8名



### 3 曽爾村

- ・ほうれん草の収穫
- ・陶芸体験
- ・餅つき体験
- ・曽爾村の獅子舞鑑賞

アメリカからの参加者人数 9名



### 4 宇陀市

- ・きりえ体験
- ・座禅体験
- ・神社で作法学習
- ・醤油店見学

アメリカからの参加者人数 13名



### 5 桜井市

- ・そうめん製造体験
- ・製粉工場見学
- ・今西酒造で利き酒
- ・なら食と農の魅力  
創造国際大学校見学

アメリカからの参加者人数 8名



## 6 高取町

- ・古代衣装体験
- ・醤油蔵見学
- ・高取城跡でハイキング
- ・七味作り体験

アメリカからの参加者人数 6名



## 7 明日香村

- ・古代衣装体験
- ・酒蔵カフェ見学
- ・棚田でハイキング
- ・案山子作り体験

アメリカからの参加者人数 14名



## 8 橿原市

- ・畝傍高校見学
- ・昆虫館訪問
- ・お茶席作法体験
- ・紙すき体験

アメリカからの参加者人数 8名



## 9 広陵町

- ・子ども達によるお出迎えと歓迎式典
- ・婦人会による郷土料理ランチ
- ・靴下工場見学、古墳見学
- ・田植え体験、柔道体験 等々

アメリカからの参加者人数 12名



## 10 斑鳩町

- ・日本舞踊と琴演奏
- ・法隆寺見学、古墳見学
- ・「麩」の製造見学
- ・木魚体験

アメリカからの参加者人数 7名



## 奈良県立畝傍高校

- ・校内見学
- ・授業に参加
- ・日本文化体験(うちわに書道)
- ・畝傍高校生に向けて、米国の高校生が公民権・人権のプレゼンテーションを披露

アメリカからの参加者人数 15名





クロージング式典会場は能楽ホール

## 7月2日(日) クロージング式典 @ “麓” 能楽ホール

3泊のホームステイと延べ4日の文化体験・交流を終え、参加者はホストファミリーと共に、奈良市内の奈良春日野国際フォーラム“麓”に集合。麓の能楽ホールで、大会を締めくくるクロージング式典が開催されました。



北河原公敬 奈良大会実行委員長  
奈良日米協会会長 東大寺長老



荒井正吾 奈良県知事



津山恭之 奈良市副市長



マット・クレブス CIE-US 理事



各分科会の  
キーパーソンによる活動報告



川添真一郎 前ワシントン州  
日米協会会長による  
次回シアトル大会の紹介

## クロージング・レセプション @ “麓” 日本庭園

お天気にも恵まれ、大会の最後の行事となるクロージング・レセプションは、“麓”の美しい日本庭園での開催となりました。せんとかんのお出迎えを受け、アメリカからの参加者やホストファミリーらは、「あすか組」の和太鼓を楽しみながら、最後の別れを惜しんでいました。



西田新 大会実行委員会副会長  
奈良青年会議所理事長



中西康博 奈良県観光局理事



あすか組による太鼓演奏



初めての太鼓体験



レセプション会場は麓の日本庭園



あちらこちらで見られたハグ



これからの交流はITを使って



ホストファミリーともこれでお別れ



北村寛治 大会実行委員会委員  
奈良日米協会理事長

## 7月3日(月) ポスト・サミット・オプション・プログラム

奈良大会後、もっと日本に滞在したいという参加者のために、CIEでは財団顧問やボランティアの協力を得て、京都、金沢、能登などでのポスト・サミット・オプション・プログラムを実施。フリーのプログラムを含めて4つのコースに計37名が参加しました。

### 1. 京都ホームステイ2泊と東京 (14名)



祇園コーナーで京都の文化鑑賞



ポットラック・パーティーにて

### 2. 金沢&能登ホームステイと東京 (10名)



金沢で芸工体験



マシュー・ベリー氏は  
能登の七尾高校で講演も

### 3. 東京フリー (6名)

### 4. 京都フリー (7名)





次の花を咲かせよう。

世界を舞台に多岐にわたる分野で、  
様々なビジネスを創造してきました。  
それでも、まだまだ成長過程。  
人のため、社会のために、  
まだ見ぬ花を咲かせていきたい。  
私たちはこれからも創造し続けます。

すべては、  
ひとつの思いから。



## ジョージア州から高校生ら15名が TOMODACHIの支援で参加！

今年の奈良大会には、TOMODACHIイニシアチブの支援を受けて、ジョージア州メーコン・ビブ郡のユース・コミッションのメンバー15名と引率者も参加しました。彼らは、昨年の広域アトランタ大会で、大分から参加した高校生をホストとして受入れた生徒達。今年は、自分達が参加者としてホームステイなどを体験しました。



彼らの住むジョージア州は、キング牧師の故郷。今回の参加目的の一つは、公民権・人権に関するプレゼンテーションを日本で複数回行うことでした。

大会2日目(6/28)のローカル・ツアーでは、修学旅行中の福島県の葛尾中学校(昨年の広域アトランタ大会に参加)の生徒と交流しながら長谷寺や檀原神宮を見学。同日夕刻からのオープニング・レセプションでは、ジェイソン・ハイランド駐日米国臨時代理大使を含む220人の米国人と日本人の前で、堂々としたプレゼンテーションを披露しました。バイオリンの演奏や寸劇を含む、公民権獲得への苦難の歴史や、人権への熱い思いの溢れる内容に、会場からは割れんばかりの拍手が送られました。

翌日(6/29)からは、奈良県橿原市の畝傍高校の生徒の家にホームステイしながら、学校と家庭生活を体験する3泊4日の地域分科会。高校では授業にも参加したり、書道にも挑戦しました。しかし、もっとも印象に残ったのはホストファミリーと過ごした時間だったようで、土曜日に家族みんなで過ごした時間の楽しさに関する感想文が目立ちました。地元の学校やホストファミリーとの生活を通して、日本文化、日本人の価値観、おもてなしの心を学んだようです。



バイオリンと寸劇も入ったプレゼンテーション



黒部では桜井高校を訪問



授業にも参加

奈良県での一週間のサミットの後、一行は金沢で一泊。その後、メーコン・ビブ郡と姉妹都市である富山県黒部市を訪問しました。今年はメーコン・ビブ郡と黒部市の姉妹都市40周年であり、その祝賀会では黒部市長の堀内康男氏と地元の方々参加者を温かく迎え入れてくれました。また黒部市でも桜井高等学校を訪問。地元の高校生との交流を楽しみました。多くの日本人との交流、また滞在中4回行ったプレゼンテーションを通し、生徒達は大きな自信をつけ、次世代のリーダーとしての第一歩を踏み出したようです。

「茶道を体験することができましたが、そこで僧侶を含む4人の女性から学んだことは、茶室においては、社会階層、人種や宗教に関わりなく、皆が平等だということでした。人間であるということのみで尊重されるというのは素晴らしいことです。一生に一度の忘れられない体験になりました」

ジョナサン・サマロウ

「日本滞在中、米国と日本文化の多くの違いに気付きました。持っている物の量でなく、生活の質に感謝するべきだということ、周囲の人々に善を行えば返ってくる、また、他人と異文化を敬う大切さを学びました」

ケイトリン・ニール



第2回

# テキサス大学ダラス校・草の根サミット特別プログラム

CIEは、2011年の高知大会、2012年のノース・テキサス大会を背景にして、2014年にテキサス大学ダラス校(UTD)と高知大学の交流提携の仲介を行いました。2015年の大分大会の折には、第一回のUTD学生向け特別プログラムを実施。今年の奈良大会では、その第2回目として、12名(うち1名は引率者)がUTDから奈良大会に参加しました。

一行は、奈良大会の後、高知大学で1週間のサマー・プログラムに参加。日本語の基礎や、フィールドワークを通して高知の文化や歴史も学びました。同年代の地元の学生とは、今後も息の長い交流が期待されています。

その後の東京で一週間は、NEC、キッコーマン、YKK、ANA、トヨタ自動車、ウェーバー・シャンドウィック・ジャパン、三菱商事という、国際的に事業展開している7社を訪問。プレゼンテーションを受けた後は、活発に質疑応答も行われました。



NECでは、最先端の顔認識システムについてプレゼンを受け、その進んだ技術をショールームで体験



キッコーマンでは、茂木修国際事業本部長から直接、文化の違いに配慮したキッコーマンの海外展開の歴史などを拝聴



YKKでは、小さなパーツの大きな役割、また「ものづくり」にかける情熱について話を伺い、実際にジッパーでストラップ作り



ANAの訓練センターでは、緊急脱出訓練に加え、「おもてなし講座」ではおじぎの仕方や名刺交換等のマナーをしっかりと学習



トヨタのMEGA WEBでは、社史や企業ミッション、また今後の技術展開に関するプレゼンを受け、水素自動車MIRAIに試乗



ウェーバー・シャンドウィックでは、広告とPRの違いを学び、PRが生み出す価値観についてディスカッション



三菱商事では、女性を支援する仕組みづくりの重要性、その効果、今後の取組み等について拝聴。MCフォレストも訪問



最終日には、国会議事堂も見学。日本の政治の仕組みも、少々学習。

寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



アイシン精機株式会社  
AISIN SEIKI Co., Ltd



鹿島建設株式会社  
Kajima Corporation



キッコーマン株式会社  
Kikkoman Corporation



株式会社ジェイテクト  
JTEKT CORPORATION



全日本空輸株式会社  
All Nippon Airways Co., Ltd.



ダイキン工業株式会社  
Daikin Industries, Ltd.



株式会社デンソー  
DENSO CORPORATION



株式会社ドトールコーヒー  
Doutor Coffee Co., Ltd.



豊田合成株式会社  
TOYODA GOSEI CO., LTD.



トヨタ自動車株式会社  
TOYOTA MOTOR CORPORATION



株式会社豊田自動織機  
Toyota Industries Corporation



豊田通商株式会社  
Toyota Tsusho Corporation



トヨタファイナンシャル  
サービス株式会社  
TOYOTA FINANCIAL SERVICES  
CORPORATION



トヨタ紡織株式会社  
TOYOTA BOSHOKU  
CORPORATION



株式会社ニフコ  
Nifco Inc.



日本郵船株式会社  
NIPPON YUSEN KABUSHIKI  
KAISHA (NYK LINE)



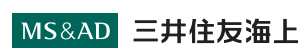
日野自動車株式会社  
Hino Motors, Ltd.



富士通株式会社  
Fujitsu Limited



ブラザー工業株式会社  
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



三井住友海上火災保険株式会社  
Mitsui Sumitomo Insurance  
Company, Limited



株式会社三井住友銀行  
Sumitomo Mitsui Banking  
Corporation



三菱商事株式会社  
Mitsubishi Corporation



三菱食品株式会社  
Mitsubishi Shokuhin Co.,Ltd



明治安田生命保険相互会社  
Meiji Yasuda Life Insurance Co.



MORIMURA BROS., INC.  
森村商事株式会社  
MORIMURA BROS., INC.

愛知製鋼株式会社 / アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社  
パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社

AICHI STEEL CORPORATION / Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.  
Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 (五十音順) Corporate members

医療法人財団今井会 足立病院 / 明治安田生命保険相互会社 / 株式会社三菱東京UFJ銀行

Adachi Hospital / Meiji Yasuda Life Insurance Co. / The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

奈良大会協賛企業



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念  
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative  
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602  
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan  
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175  
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp